

番号	119	旧戸杓橋建造記念碑		
所在地	有田町戸杓丙 昭和公園内			
災害別	昭和23年(1948) 水害			
目的別	遺構	建立年	記念碑は大正14年6月	
特記事項				



有田川に架かる戸杓橋のもとに、旧戸杓橋の石橋記念碑が置かれている。説明板には、



「旧戸杓橋建造記念碑 この記念碑は、大正14年にこの地に橋が架設された記念として造られたものです。当時は2連の石橋アーチ橋で、幅員4.4m、橋長25mの橋でしたが、昭和23年の水害で護岸が崩壊し、この記念碑も流されたままになっていました。その後鉄筋コンクリート造のアー

チ橋が一連付け加えられ、昭和62年11月まで使われていました。記念碑は、この度の新しい橋の付け替え工事の際、川底から発見されたものです。」と記されている。

「有田町史」によると、昭和23年9月11日から12日にかけての大雨で、猿川上流の大谷溜池が決壊、さらに町内を流れる白川川にあった貯木場から流れ出た流木により被

害が拡大。旧有田町では24人の命が奪われた。この大雨で有田川に架かる橋は、岩崎橋を除いて伊万里湾河口まで全て流失したと記されている。



現在の戸杓橋



国土地理院電子国土 Web